

校庭の桜のつぼみが、より一層膨らんできています。まるで、春の季節も、卒業生の門出をお祝いしてくれているように感じます。

今日のこのよき日に、関根政雄（せきね まさお）村長様をはじめご来賓の皆様、並びに保護者の皆様のご臨席を賜り、令和四年度 卒業証書授与式を挙行できますことに、心より御礼申し上げます。

さて、小学校六年間の全課程を修了した二十五名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。先ほど、一人一人に卒業証書をお渡ししましたが、それを受け取る皆さんの表情に、中学校への希望と決意が感じられました。卒業証書は、この鮫川小学校で、学ぶべきことを全て学び終えたという大切な証明書です。鮫川小学校の卒業生であるという誇りと一緒に大切にしてください。

みなさんは、今年一年間、鮫川小学校の最高学年として、学校をリードしてくれました。新型コロナウイルス感染症の影響により活動が制限される中ではありましたが、それに負けることなく、運動会、さめっこフェスティバルなどの学校行事や日々の学校活動の中で、学校の中心として活躍してくれました。

特に印象に残っているのは、下級生に対する、みなさんのやさしい姿です。四月のなかよし遠足では、一年生の手を取り、山頂までやさしく導いてくれました。慣れない小学校生活に不安を感じていた一年生も、みなさんのやさしさに安心したことでしょう。お掃除の時にも、下級生に丁寧にやり方を教えてくれました。校庭に雪が積もったときには、休み時間に、下級生と遊んでくれている六年生の姿が見られました。日頃の授業の中で、友達と相談し教え合うみなさんの姿にも、やさしさが感じられました。少し恥ずかしがり屋で、引っ込み思案な所もありますが、やさしさにあふれる六年生のことが、在校生も、私たち教職員も大好きでした。

そんなみなさんに、今後大切にしてほしいことを一つだけお話しします。それは「積極性」です。ここでいう積極性とは、声の大きさ、行動の活発さなど、見た目で判断できることばかりではなく、主に心の持ち方のことを表しています。みなさんが、自分の夢や希望を叶えるためには、自主的に練習したり、努力を積み重ねようとしたりする積極性が大切です。また、この先、みなさんに夢につながるチャンスが訪れたとき、失敗を恐れず、チャレンジする積極性も必要です。このような、夢に向かって自分から行動する積極性と、人を思いやるやさしさをあわせ持つ人になってほしいと期待しています。みなさんのこれからの活躍を、心からお祈りします。

続きまして、保護者の皆様一言お慶びの言葉を申し上げます。本日は、お子様のご卒業誠におめでとうございます。お子様の小さい頃からの成長と、今日の日まで歩んできた日々を振り返ると、喜びもひとしおのことと存じます。保護者の皆様これまでのご苦労と、お

子様に注ぎ込んでこられた深い愛情に、改めて敬意と感謝の意を表したいと思います。本当にありがとうございました。これからは、中学生としてより一層多感な成長期を迎えるわけですが、これまでと変わらず、温かなまなざしと深い愛情によって見守っていただき、成長を支えていただきますようお願いいたします。

最後になりますが、ご来賓の皆様、保護者の皆様、地域の皆様には、これまでの本校の教育活動にご理解とご支援をいただいたことに対し、厚く御礼申し上げます。今後も、本校の教育を見守っていただきますようお願い申し上げます、式辞といたします。

令和五年三月二十三日

鮫川村立鮫川小学校長 大塚 欣之